

[早良演習林]1. 海岸クロマツ林の林分構成ならびに 成長量調査

垣内, 重三郎
九州大学農学部附属演習林 : 助手

<https://doi.org/10.15017/1456177>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和38年度, pp. 99-99, 1964. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



早良演習林

1. 海岸クロマツ林の林分構成ならびに成長量調査

垣内重三郎

過去3回の調査結果の比較を青木助教授、柿原教官の協力を得て行ない。その結果を演習林集報 No. 20 に発表した。

また、昭和37年度末森林調査後のプロット毎の移動を明らかにした。

とりまとめ表

項 目	昭和37年度末 調 査	昭和38年度 松 下 数 量	現 在 量	備 考
本 数	22,782 ^本	639 ^本	22,143 ^本	成長量は加算せず。
材 積	9,299 ^{m³}	241 ^{m³}	9,058 ^{m³}	

上の表より、見るときは、年間の全成長量を、伐採していることになり、保安林の維持管理上、憂慮すべき現象なれども、海岸地帯の松林は、5年-10年毎の、週期的に発生する、松毛虫の大被害にして、昭和38年度は、丁度その週期にあたった訳で、大被害を被り、一部は昭和39年度まで、被害がおよぶものと考えられる。

なお、本年度はオウキヨウ菌を準備して対策を考えている。